

かほく ワークシート

うた 詩

ふるさと 故郷へ ～いまいはのんの

『まだそんなこといつてるの』

「まだそんなこといつてるの
あれから何年たっているの？」

内に秘めて生きているから

そんな言葉を聞いて

あの日差し出された
あたたかく力強い手に

くやしさが込み上げてきた

励まされたことに
心から感謝している

知っているのだから

でもどこからか

テレビにうつらない現実
ねばねばとからみつき

ねじ曲げられているようにも
思ってしまう

一日一日の生活にのしかかる

あの日以来

家を流され土地を失い
大切な人を亡くし

何度涙を飲んだだろう

誰にでも別れはある だけど
あまりにも突然で

何度拳を止めただろう

戻せない時間と分かりながらも
思いにふけてしまうときもあ

笑顔に秘めた強さは
沢山の哀しみや切なさを

る
未だに土台がのこるあの場所

「まだそんなこといつてるの」

「まだそんなこといつてるよ
あの日を忘れずに

前向きに進むために」

いまい・はのんさん 詩人。宮城県巨理町出身、東京都在住。高校時代に詩の魅力に触れ、首都圏で音楽活動や社員をしながら、詩を書きためる。作品は自身のブログで発表している。東日本大震災後は被災地を何度も訪れ、被災者の思いに寄り添い心を支える詩をアップしている。詩集『真冬に咲く桜～passion flowers～』（2000年）、『ゆめほし』（01年）など。

いまいさんのブログ <http://ameblo.jp/imaihanon/>

①「まだそんなこといつてるの」は、東日本大震災をどのように考えている人が言っていると思いますか。

②「まだそんなこといつてるよ」は、どのような気持ちの被災者が言っていると思いますか。

③今、この詩を誰に一番読んでもらいたいですか。

（2014年12月24日河北新報夕刊）

年 組 名 前

（中学校・高校／朝の会、総合）